



《はじめに》

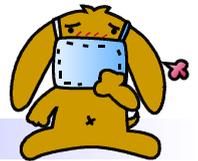
今年の夏は、昨年と同様に梅雨明けが7月下旬までずれ込むなど、大変雨が多く極端な日照不足となり、稲の穂が出るのも一週間ほど遅れましたが、梅雨明け後は晴天の日が続き、稲の生育もどうにか持ち直してきたようです。

作物には良いのでしょうか、ここのところの酷暑は大変体に堪えます。熱中症もちろん心配ですが、それに加え今年は、新型コロナウイルスの感染拡大も大変心配される状況が続いていますので、健康管理には十分お気を付けください。

城山西小学校は短い夏休みが終わり、お盆明けから子供達のにぎやかな声が学校に戻ってきました。一方、現在もコロナ禍のただ中であって、これまで長年続けてきた地域と学校の連携を象徴する「地域合同運動会」の開催を、大変残念ではありますが今年は見送ることになりました（子供達と保護者による運動会は実施します）。

このような状況下にある中で、今年も10月から令和3年度小規模特認校17年目の児童募集がいよいよ始まります。このような時だからこそ、私たちはこれまで以上に地域と学校が協力して、地域と学校のさらなる魅力向上に努めながら、地域外からの児童の確保に向けた取り組みを積極的に実施していかなければなりません。今後ともみんなでがんばって行きましょう。

今回も、地域活動の最新情報など、地域の皆さまに様々な情報をお届けします。



活動報告

◇◇こがし桜ルネサンス事業を今年も精力的に推進しています！◇◇

☆☆“こさ切り”を地域総出で行いました！☆☆

“こさ切り”は、毎年お盆の前に行う「こがし桜ルネサンス事業」の中心的な取組で、今年は8月2日（日）の早朝6時から、多くの地域の方々の参加を得て実施されました。

この時期の雑草の成長はびっくりするほど旺盛で、背丈ほどに伸びた雑草を大汗をかきながら刈り払い機などで刈って行きました。おかげさまで皆さんの力で古賀志が隅々まで見違えるほどきれいになりました。古賀志の美しい景観を守っていくことは大変なことですが、これからも地域みんなで協力しながら、この取組を続けていきましょう。

早朝からの作業、大変お疲れ様でした。来年もよろしくお願ひします。



早朝、全員集合



「中土手の桜」周辺の作業風景



隅々まできれい！

☆☆“二宮掘”洞門周辺の安全柵補修工事を行いました！☆☆

“二宮掘”は、日光市、鹿沼市境から古賀志の田んぼまで水を届ける、地域の農業を支える大変重要な農業用水路ですが、その道中はとても長く、こまめな維持管理が欠かせません。

途中には私たちの先祖が苦勞して手彫りで掘った洞門があり、洞門の入り口は地表から低いところにあるため、転落防止の柵が設けられています。今回はこの柵が老朽化したため、6月7日（日）に補修工事を行いました。

作業にあたってくださった皆さん、ご苦勞さまでした。



☆☆ “U字溝” 設置のための打ち合わせを行いました！☆☆

“二宮掘”は、下古賀志前原に新たに開墾した水田約10町歩に水を引くために整備されたもので、明治4年に完成しましたが、その後圃場整備などは行っていないことから、ほとんどが土水路の状態であり、管理が大変でした。

そこで、ほんの一部ですがU字溝を入れようと関係者が集まり整備計画を相談しています。施工は今年の刈り入れ後になる見込みです。



現地調査の様子

◇◇ 『奉仕作業』 お疲れ様でした！◇◇

8月23日（日）、コロナ禍の中ではありましたが、子供達の参加は見送り、参加者の三密を回避しつつ！？恒例の城山西小学校奉仕作業が行われました。

今年は、コロナの影響で様々な地域と学校の行事が中止となっていることから、開会式の時に新入生の保護者と新任の先生方のお披露目、紹介がありました。

今年も多くの方々が参加していただき、蒸し暑い中での作業となりましたが、汗をかきかき一生懸命に作業をしていただきました。夏の日差しを浴びて生い茂った雑草を刈ったり、枝の伸びた庭木を剪定したりと、学校が見えるほどきれいになりました。今年はコロナの影響で、恒例の「流しそうめん」の実施ができず、大変残念でしたが、来年は期待しています。

みんなで作業することで、改めて地域と学校の結びつきの強さを実感することができました。皆さん大変お疲れ様でした。来年もよろしくお願いいたします。



新入生保護者の紹介の様子



刈払機のエンジン音が鳴り響きます



校庭は草でいっぱいです

地域情報

◇◇ 『古賀志そば生産組合』で秋そばの種まきを行いました！！◇◇

農業者の高齢化や担い手不足が加速し、耕作放棄地がどんどん増えている古賀志の農地を有効利用するために、『古賀志そば生産組合』が設立されましたが、8月9日（日）に秋そばの種まきを初めて行いました。

組合員が早朝から集まり、トラクターで施肥した後、大型トラクターで種まきをしました。圃場は不整形なところもあり、大型機械で一気に効率的に作業を行うことはできず、改めて耕作条件の厳しさを感じました。

今ではすっかり緑の葉が生えそろい、美しい景観が広がっており、順調に成長すれば一面の美しい白い花に覆われた風景を見ることができるところでしょう。古賀志山の麓に広がる魅力あふれる新しい地域資源となることを期待しています。秋の収穫が楽しみです。



施肥の様子



種蒔きの様子



きれいに生えそろいました！

～今後とも考える会の活動に対して、ご協力とご支援をよろしくお願いいたします。～